

緑のセンターだより

NO. 188 平成 26 年 11 月 1 日発行

発行元：(公財) 札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

クコ(枸杞)

ナス科 クコ属
Lycium chinense

クコは東アジアの熱帯から温帯にかけて広く分布し、日本では全国各地の日当たりがよく、湿りけのある原野、海岸、道端などに生えています。また、生垣としても植栽されています。高さ1~2mの落葉低木で、枝は直立せず叢生（そうせい）し、しばしば刺状の小枝を生じます。葉は披針形で互生または束生し、長さ1.2cmくらいの花を葉腋につけます。花冠は漏斗状で5裂し、淡紫紅色で暗紫紅色の脈があります。秋には長さ1.2~1.5cmの赤く美しい液果をつけます。果実は橢円形で液質、先がとがり、熟すと鮮紅色になり多くの種子がはいります。クコには小葉系（中国産）と大葉系があると言われていますが、明確な栽培品種は現在知られていません。

クコは生命力が旺盛で非常に丈夫な木なので、特に栽培上難しい事はありません。土手や耕地の周辺などで良く育ちます。基本的には土地を選ばないとされますが、日当たりが良く水はけの良い、弱アルカリ性の土地を好みで、酸性が強い場合には石灰を入れると生育が良くなります。また、肥料や病気の心配はありませんが、時としてうどんこ病が発生する場合がありますので、冬または早春に弱枝や徒長枝を刈り込んで風通しを良くすると、見た目も良くなり、うどんこ病の対策としても良いでしょう。増殖は実生、挿し木、株分け、取り木、で行うことができ、枝を10~15cmに切って挿すと容易に発根します。日本では平安時代より利用されていたようですが、1704年に貝原益軒が食用として栽培法などを記し、古くから栽培されていたことが窺えます。

中国では古くから漢方として利用され、現代でも、クコの若芽はやわらかでほろ苦くクセがないので、ゆでたり、米飯に炊き込んでクコ飯に、特に、実は干しておかゆなどに混ぜたり、酒に漬けてクコ酒にし薬用として飲用されています。

果実にはベタイン約0.1%が含まれビタミンCも多く、つややかな果皮の紅色色素はゼアキサンチンです。また、根皮にリシウマミド、葉にビタミンCやルチンなどを含みます。クコの漢方の薬効として果実は強壮薬として肝腎を滋養し虚労、腰膝の疼痛、無力感、めまい、頭痛、消渴などの症状、根皮は消炎、解熱、強壮、虚労、糖尿病、結核などに用い、葉はお茶剤として強壮、強精薬とされています。効果は多くあるようですが、薬は使い方次第と言いますので、食べ過ぎは注意したほうが良いようです。



(N. H)

11月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付	10:00~12:00、13:00~16:00
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日 (月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
☆百合が原公園	772-3511 日曜(11月2日まで)
☆平岡樹芸センター	883-2891 水・土曜(11月8日まで)

◆琉球アサガオの栽培

琉球アサガオは流通名で、ヒルガオ科イポメア（サツマイモ）属の半耐寒性蔓性多年草です。和名はノアサガオ、西表アサガオと言います。園芸品種にはオーシャンブルー、クリスタルブルー、ラッキーブルー、ケープタウンブルーなどがあります。鉢植えにして行燈仕立て、庭植えやコンテナ植えにしてグリーンカーテンに仕立てて楽しめます。短日開花なので秋口からの開花となり、朝に青い花が咲き、夕方にピンクに変わって萎みます。種ができるので挿し木などで殖やします。また、0°C以上で霜に当たらなければ地植えで越冬可能な植物なので、北海道では一般的に鉢植えにして育て、葉が枯れ始める前に室内へ取り込みます。暖かい室内へ置くことができる場合は陽にあてて育てると冬でも生長し花を咲かせます。難しい場合は霜が降る前に葉が枯れ始めたらツルを地面から10cm程度まで切り戻し、0°C以上の凍らない場所に置きます。関東以西では葉が枯れ始めたらツルを地面から10cm程度まで切り戻し、ワラなどを被せ越冬させています。

殖やし方 :時期は5月～6月と8月下旬～9月が適期ですが他の時期も可能です。

1) **挿し木** 誘引していたツルの節上ごとに切り、肥料分のない赤玉土などに挿し木します。節下のイボイボした部分を土の中に埋めないように茎の部分だけ土に挿します。挿し穂の葉が大きい場合は半分にカットすると水分の蒸散を抑制できます。切り口に発根促進剤をまぶすと発根が促されます。発根したらポット上げして室内で管理します。

2) **水さし** 誘引していたツルのイボイボのついた節の下で切ったツルをコップなどに水を入れ、日陰で管理し、発根したらポット上げして室内で管理します。

3) **茎伏せ** ネットに絡み易く花を咲かせるツルとネットに絡まないツルが発生します。このツルは子孫を残すためのランナーで、地を這うように伸び、所々に根が生えてきます。このランナーを切り離さず、発根しがけている節のところに土をかぶせます。発根した後、ツルを切り離してポット上げし、室内で管理します。

生育管理 :5月頃芽が出始めます。

1) **日当たり・土壤**…庭植え、コンテナ植え共に半日以上日が当たる場所で、有機質に富んだ水はけの良い土壤が適しています。

2) 肥 料

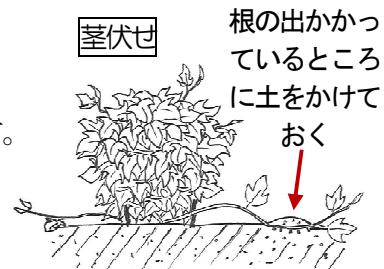
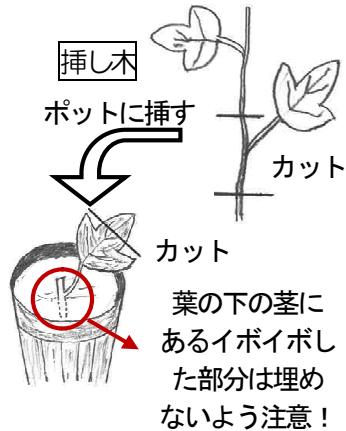
① 庭植え…植え付け2週間ほど前に1m²当たり苦土石灰150gを混ぜ込んでおき、植え付け時に1m²当たり腐葉土約2kg、粒状化成肥料150gを施用してから苗を植え付けます。株間は60～90cm程度にします。

② コンテナ植え…市販の草花用培養土などを利用する時は、牛糞堆肥と川砂を各1割ほど加え、粒状化成肥料を用土1ℓ当たり5g混ぜて苗を植えます。コンテナ1つに1株で十分です。

※肥料過多では花つきが悪くなり、不足すると下葉が黄変し、花つきも悪くなるので、液体肥料を1～2週間に1度与えます。

3) **水やり**…花が咲くまでは乾燥気味に管理し、土の表面が乾いたらたっぷり与えます。花が咲いたら毎日与えます。

4) **ツルの誘引**…平均気温25°Cが続くようになると成長が盛んになります。ツルが伸び始めたらネットに誘引し、下から1mくらいまで伸びたら摘心します。摘心により新しいツルが伸び始めます。

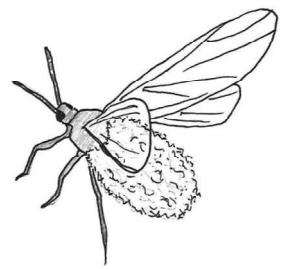


◆雪虫の正体

晩秋の空に雪が舞うようにふわふわと飛来する雪虫。北海道の晩秋の風物詩であるとともに冬の到来が間近であることを知らせます。

この雪虫は一体何でしょうか?なぜこの時期に飛び、どこからどこへ行くのでしょうか?

雪虫は北海道に10数種いるそうですが、私たちに最もなじみの深い雪虫の本当の名前は、「トドノネオオワタムシ」です。トドノネオオワタムシはアブラムシの仲間です。アブラムシ類の生活史は極めて複雑で、解明されていない点もあるようですが、季節によって宿主となる木を変えるアブラムシは多くいます。トドノネオオワタムシもまた、ヤチダモとトドマツを宿主とするアブラムシです。



5月、卵からふ化したトドノネオオワタムシは6月中・下旬に翅が生えて、ヤチダモからトドマツの根に移動します。この季節になるとヤチダモの養分が少なくなるのが原因と言われています。夏の間、トドマツの根でアリと共に共生しながら単為生殖(雄を必要としない生殖)を繰り返して数を増やしてゆきます。9月下旬、秋の気配を感じると、地上に出て、10月中・下旬に再び翅が生えた雪虫となり、トドマツの根からヤチダモの幹に移動するのです。これは日長の変化、気温の変化、トドマツの養分の変化が理由と考えられています。ヤチダモの幹に到達した雪虫はここで初めて雄と雌を生みます。翅はどちらもありません。この雄と雌は交尾(有性生殖)して1個の受精卵を産み、卵はそのまま冬を越します。また、トドノネオオワタムシは春と秋の2回、翅が生え、2種の樹木間を空中移動しますが、初夏のヤチダモからトドマツへの移動は数が少ないので目立ちません。

雪虫の特徴である腹部に付いた綿のようなロウ物質は雪虫が空中を舞うのに役立つのみならず、地中で生活をしている時に土や水分から身を守る為にも役立っていると言われています。

ある民間の気象観測会社の調査によると札幌では雪虫の飛来から初雪まで18日というデータがあるそうです。今年は10月上旬に雪虫を見ました。雪の季節は目の前に来ています。

◆ Q & A ◆

Q 皇帝ダリアとはどんな花ですか。普通のダリアとの違いを教えてください。また、栽培の仕方も違うのでしょうか。(白石区 Tさん)

A 皇帝ダリア (*Dahlia imperialis*) は一般的な園芸種であるガーデンダリア (*D. coronata*, *D. excelsa*, *D. imperialis*などの交配種)と同じキク科ダリア属の一つですが、この種類は木立性で、育てて開花する頃には4~6mと木のように伸長するため、その堂々とした草姿から「皇帝」と名付けられたのでしょう。種小名の *imperialis* も「皇帝の」という意味を持ちます。また、和名を木立ダリアと称し、別名「タラノハダリア」英名ではツリーダリアと呼ばれています。



ガーデンダリアとの大きな違いは、巨大な木立となることと、極端な短日性であるということでしょう。いくら早く植え付けても11月にならないと咲きません。北国の庭ではもう冬の準備をする季節で、低温に弱いダリアは開花しないまま枯れてしまいます。札幌で皇帝ダリアの花を咲かせるには、鉢植えにして室内管理になります。しかし、4m以上にも育つ鉢は後から室内には入れることができません。摘心と切戻し(剪定)で丈を抑えられる可能性はあります。

4月に新芽が発生した株を植え付け、6月から7月にかけて伸長した芽をカットして枝芽を出させ、更に伸長する枝芽を2節残して切り戻します。その後伸びる枝芽に8月頃、花芽分化するので、それ以降は切り戻しができません。また、室内で管理する際、夜間は照明などにあてないよう注意し、短日条件になるよう管理します。この方法で草丈1.5mから2mくらいの高さで咲かせられたら大成功です。

苗を求めるのは来春になります。一般的には市販されていないと思いますから、ネット販売や通信販売を利用するのがよいでしょう。ポット苗で数百円くらいあるようです。



11月～12月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
レカンフラワーの魅力 ～乾燥草花のコラージュアート～	11月5日(水)～11月16日(日)		レカンフラワー協会 フルールアール	入場無料
洋ラン展	11月11日(火)～11月16日(日)		北海道蘭友会	〃
シャコバサボテンとシクラメン展	11月18日(火)～11月30日(日)			〃
クリスマス展	12月2日(火)～12月14日(日)		豊平公園花とハーブの会	〃
園芸教室・自然教室				
各種洋ランの冬の管理	11月15日(土)	13:30～	10/11(土)～	無料
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月20日(木)	〃	11/11(火)～	〃
クラフト教室				
レカンフラワーのミニ額体験講習会	11月8日(土)	10:00～	10/11(土)～	2,500円
現代押し花アート体験 ミニ額作り 「花リース」	11月11日(火)	10:00～	〃	〃
ナチュラルリースを作ろう	12月4日(木)	10:00～	11/11(火)～	材料費実費
ご自宅のコチョウランの植え替えを個別指導				
コチョウラン植え替えサービスディ	11月23日(日)	9:00～	11/11(火)～	材料費実費

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

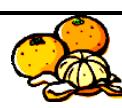
内容	日		費用・備考
展示会			
クリスマスディスプレイ	11月18日(火)～12月7日(日)	コテージガーデン	温室入館料130円

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

開園期間延長及び冬期閉園のお知らせ

紅葉をお楽しみいただくため、開園期間を11/9(日)まで延長いたします。(11月10日より冬期閉園となります。)

その他の公園



イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
夏季開園終了11月10日(月)、11月11日(火)～12月22日(月)休園 12月23日(火祝)より「滝野スノーワールド」OPEN!		別途駐車料金 ・入園料有り	滝野すずらん 丘陵公園 592-2222
子りす工房～おとなの日 「クリスマスリース」	11月13日(木) 10:00～、13:30～	要申込：1000円	
子りす工房～こどもの日 「クリスマスのかぎりをつくろう」	11月16日(日) 10:00～、13:30～	要申込：500円	西岡公園 582-0050
子りす工房～おとなの日 「干支のひつじ作り」	12月11日(木) 10:00～、13:30～	要申込：800円	
サケ・タッチ・プール	11月22日(土)・30日(日)13:00～	直接会場へ：無料	さけ科学館 582-7555
サケの人工受精体験	11月16・23日(日) 13:00～, 14:00～		
森の冬支度をウォッキング	11月19日(水)10:00～	直接会場へ：100円	平岡公園 881-7924
のうしアンサンブルミニコンサート	11月22日(土)13:30～	直接会場へ：無料	農試公園 615-3680
クリスマスリース講習会	11月23日(日)・24日(月祝)10:00～	要申込：1,500円	
まつぼっくりアート講座 「クリスマス」	11月24日(月祝) 10:00～	要申込：300円	川下公園 879-5311
ホワイトイルミネーション	11月21日(金)～12月25日(木)	直接会場 大通公園 へ	さっぽろホワイトイルミ ネーション実行委員会 211-3341
ミュンヘンクリスマスマ	11月28日(金)～12月24日(水)		ミュンヘン・クリスマスマ in Sapporo 実行委員会 211-2032